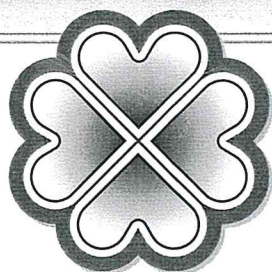


日本レディースバドミントン連盟だより



Vol.1

J.L.B.A.



第 19 回全日本レディースバドミントン選手権大会

会報発行にあたって



日本レディースバドミントン連盟
会長 清水 務

このたび日本レディースバドミントン連盟が、会報第一号を発行することになりました。

二十年を期に事務局も大阪に移転し、長年に亘り積み重ねられた歴史の上に、更なる発展を誓う意味も含め、誠に意義深いこととあります。

村井理事長を中心に、運営の内容も充実し運営委員会のもとに、企画、渉外、総務、競技、広報、地区活動部と分掌も決まり、今回その中の広報部としての活動として、企画されたものと思えます。

すでに要覧も発行されており、年間を通じての事業計画、結果報告等は、詳しく掲載されておりますので、会報は、会

員及び各ブロックの活動、身近なニュース、コラム等親しみ易い内容になると存じます。

さて、本連盟も、財団法人日本バドミントン協会の傘下として、その役割を十分理解し活動してまいりました。

全国大会も年々盛んとなり、各地区連盟の方々のご尽力を賜りました結果、愛好者の輪も広がり、登録も増加しております。

特にレディースバドミントン連盟の発展は、ジュニア層の拡大にも繋がり、今年度より実施されます完全週休二日制に対する、児童、生徒のゆとりの教育にも、重要な存在になるものと確信しております。

本連盟も引き続き、飛躍的発展を目標に努力する所存でありますので、関係各位の一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

終りに会報発行にあたり、ご寄稿いただきました方々、編集に携わっていただいた連盟関係の皆様にご心よりお礼申し上げます、あいさついたします。



日本レディースバドミントン連盟だより 発行によせて



日本レディースバドミントン連盟
理事長 村井 広美

日本レディースバドミントン連盟機関誌第一号が発行出来たことは、この上ない喜びです。当連盟の歩みも少しずつ整って参りました。しかしながら、地球儀で探すと小さな国の日本も、北は北海道から南は沖縄まで、土地が変わればお人の意識もそれぞれ異なります。遠い距離を感じざるを得ません。そのコミュニケーションをとるといって、この機関誌の発行は必要かつ意義あるものと、この日を待ち望んでおりました。それぞれが持っている疑問や意見を投げかけ合っ

軸にして相互の理解を深め、連絡を密にし、楽しく充実したものに仕上げたいと思っています。

これからの私たちは、まず日本のバドミントン界において果たすべき役割を認識しなくてはなりません。そのためには、日本レディースの役員一人一人がそれぞれその役割を自覚し、一貫した組織の流れを正しく把握しなければなりません。そしてよりグローバルな視点でスポーツに取り組むことの必要性を認識してほしいと考えます。

先年文部科学省より「スポーツ振興基本計画」なるものが提示されました。総合型地域スポーツクラブを二〇一〇年までに各地域に作ることを目的としたもので、長寿社会の中で、生涯スポーツを實踐していくためにも、まずその原動力となるのはレディースのパワーでありましょう。このような時代の流れの中で、全国的に組織の整ったこの連盟の活動で各地域の運営に携わって来られた役員の皆様は、その範となられるものと確信しています。競技スポーツとしてのバドミントン技術を磨いていく一方で、その持てる力を地域にも還元していく、これこそ将来へ向けての私たちの課題でありましょう。そのよすがとなりますよう、期待を持ってこの機関誌を大きく育てて行きたいものです。



第19回全日本レディースバドミントン選手権大会を振り返るで

北海道レディースバドミントン連盟
理事長 島中 玲子

昨年 8 月 28、29、30 日の 3 日間札幌の「きたえくる」体育館で第 19 回全日本レディース「都道府県」「クラブ対抗」

バドミントン選手権大会が行われました。今から 10 年前の第 10 回大会の時も開催しておりますので今回は二度目だったのでですが、その時は無我夢中でしたのでアツという間に終わってしまいました。今回は一寸気楽かなとも思ったのですが、かえって知って知っているだけに色々不安がつのりました。

最初の時のようにお金も集まらず開会式のこと、レセプションのこととやる事は山ほどあり大変でしたが、沢山の方々のご協力を頂きました。特に遠くからお越しにいただきました全日本の役員の方々北海道協会、札幌協会、北海道レディース連盟、札幌レディース連盟の方々、本当にありがとうございました。お陰様で心配した開会式も無事終わり「よさこいソーラン」の時には選手のほとんどの人達が踊りの輪の中に参加して盛り上がりました。

夜のレセプションも 800 名という今までも最高という数が集まりどうやって席を作ろうかと頭を悩ませ、レディース連盟の役員の人達も皆さん出席してもらおうと思っておりましたのに、参加できたのは山口さんと私だけ、それも席もなくでした。夜の「よさこい」は大会で準備した石狩のチームと北響太鼓はアンコール・アンコールと何度も声がかかり終了後は、本会長と一緒に皆様をお見送りしたのですがほとんどの方々にすばらしい開会式とすばらしいレセプションでしたねとおほめの言葉を頂き会長共々感激したのを思い出しております。最後のとごめはクラブ対抗の決勝戦です。札幌スタッフチームが決勝に勝ち上がりその時の凄絶な戦い振りは今でも目に焼き付いております。もう疲れて体はポロポロ、只あるのは精神力だけだったと思います。勝ちたい、勝ちたい負けたくない

という想いが足を動かし腕を上げさせたのだと思います。今まで 19 回大会が行われておりますがクラブ対抗で地元のチームが優勝したのは今回が初めてだと思います。本当に札幌スタッフチームの方々にはあのすばらしい感動をどうもありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。沢山のお手伝いをいただいたレディースの役員の方々もあの試合を見て連日の疲れも吹き飛んだ事と思います。こうして無事に大会を終了する事が出来たのも沢山の方々のご努力とご協力を頂きましたお陰と深く感謝してお礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

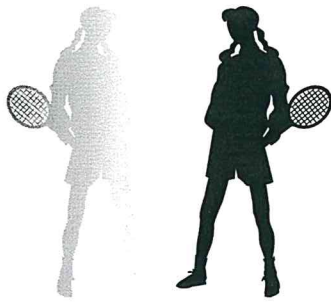
第 19 回全日本レディースバドミントン選手権大会 成績表

都道府県対抗戦

- 1 位 大阪府
- 2 位 東京都
- 3 位 千葉県
- 3 位 埼玉県
- 5 位 兵庫県
- 5 位 滋賀県
- 5 位 愛知県
- 5 位 宮城県

クラブ対抗戦

- 1 位 札幌スタッフ (北海道)
- 2 位 岡崎フェニックス (愛知県)
- 3 位 函館 B L C (北海道)
- 3 位 豊田 (愛知県)
- 5 位 八王子 (東京都)
- 5 位 東大和レディース (東京都)
- 5 位 四日市クラブ (三重県)
- 5 位 札幌パール (北海道)



第8回
 東日本レディースバドミントン大会

東京都レディースバドミントン連盟

理事長 竹内ヒロ子

東京が迎える一度目の東日本である。
 7年前の第1回は新しい大会に出会える喜びと大きな期待をもって何の制約も考えず目の前の仕事に追いかけるまま終わったよつな気がする。

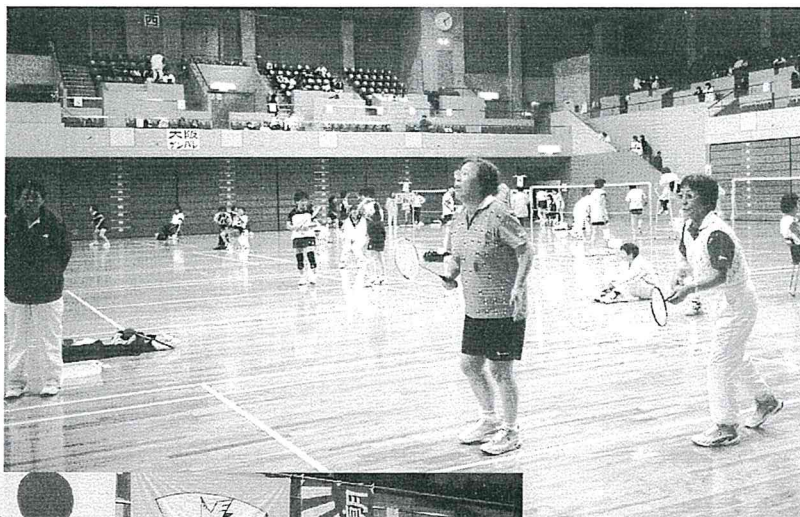
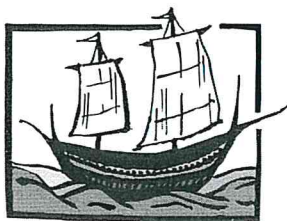
第8回 東日本レディースバドミントン大会成績

平成13年6月6日(水)、7日(木)
 中央区立総合スポーツセンター
 江東区北砂スポーツ会館
 江東区深川スポーツセンター

		1位	2位	3位	
1部	1	今津 裕美 福田 知美 (埼玉)	飯野 裕子 樽井 由美 (静岡)	土田 美加 上田加代子 (東京)	佐藤 利子 谷垣ゆう子 (東京)
	2部	A	高原真由美 岩崎 千春 (埼玉・川口フェローズ)	神 登司子 藤原千鶴子 (東京・スリーファイブ)	藤森百合恵 村山 美央 (東京・スカイ)
B		西村 智旭 加藤 悦子 (埼玉・川越美羽)	上山千登美 村田美恵子 (神奈川・レインボー)	長谷川 泉 金子 和子 (埼玉・上尾ちいろば)	
C		渡辺 浩子 津田 純子 (神奈川・レインボー)	高坂 和恵 佐野 玲子 (東京・東大レディーズ)	大久保かよ子 三田 恵子 (東京・国立BC)	
D		大野 明美 井戸 宣子 (東京・八王子)	紅山美知子 岩澤美和子 (神奈川・レインボー)	豊田 秀子 北村 千嘉 (千葉・フレンズ'92)	
E		田倉テイ子 阿部 智恵 (東京・府中)	堀口 廣美 大野富美子 (東京・八王子)	米口 順子 矢代 信子 (東京・若草会)	
F		藤原 三和 永井 和子 (神奈川・レインボー)	村田 和子 森本 浩子 (東京・昭島BC いずみ・タス)	須藤 静子 山本美保子 (千葉・山山バドミントン)	
G		秋元みや子 山田ミヨ子 (東京・桜ヶ丘・大鷲)	大神田みね子 大平 ひさ (東京・練馬)	前田 規子 小守 一枝 (東京・スピカ・湯島)	
H		佐々木侑子 西堀富美子 (宮城・けやき 東京・ミックスドロップ)	増子 トキ 小松加代子 (副島・郡山ビー 東京・スワロー)	高松 照代 橋村 和子 (埼玉・本庄天道虫 東京・BKS)	

7年後の東日本は回を重ねて内容の充実と共に基本的な規約や制度の確立を計ったものになって帰ってきた。
 日本レディース連盟からの50万円の補助金と多くの協力企業の参加は開催県にとって大きな後押しである。
 しかし今回締め切り後に他県の参加数が80ペアに満たないことを知って本部はショックを受けた。
 用意した体育館や運営費等予算的には250ペアを予定していた為初めは認めなかつた本部役員の大参加も許しその後他県の協力を得て最終的に他県82ペア東京111ペア計194ペアとなった。
 全日本大会団体戦の安定した参加数と違い数の読めないまま開催する不安は有

るものの個人戦だから出場できる会員も数多くあり東日本地区会員の楽しい出会いと友好の場としてしっかりと発展させていかなければならない。
 その為にも変えることができない基本的なものは別として開催地にあった大会運営と参加する各県の応援する姿勢が大切になってくると思う。
 そこで、東日本レディース大会の伝達帳を作った。前回迄の開催地からの意見や感想・注意事項など次の開催地への手助けのひとつとして伝えて行きたい。
 東日本レディース東京大会に参加くださいました選手の皆様たくさんの方の不行き届きをお詫言致します。今後おいての時は皆様の笑顔をお約束します。



第28回
西日本レディースバドミントン大会

福岡県レディースバドミントン連盟
理事長 小川 末子
期日 2001年11月17日～19日
会場 長崎県立総合体育館にて

第28回 西日本レディースバドミントン大会
成績

平成 13 年 11 月 18、19 日
長崎県立総合体育館
参加総数 21 府県 418 名

	優勝	2 位	3 位
1部リーグ	金子 正子 廣本 美秀 (ドロンシュ、城ノ原・福岡)	片岡美智子 石井 道子 (片岡スポーツ・長崎)	堂山貴美子 森辺ひかり 中森 良子 小森 美代 (セピア・福岡) (ダイヤモンド長崎)
2部Aリーグ (合計年齢 70歳まで)	下釜 裕子 浦上 千春 (日本ビゾー・長崎)	古場奈穂子 古賀 美保 (パートナー・長崎)	鐘ヶ江寿美子 今道 清美 (カレン・長崎)
2部Bリーグ (合計年齢 71歳～80歳 まで)	北川 智美 金崎 直美 (チューリップ・長崎)	春野 由美 今泉 薫 (明日葉・長崎)	潮屋美穂子 溝口由紀子 (チューリップ、エンゼル・長崎)
2部Cリーグ (合計年齢 81歳～90歳 まで)	木村 妙子 田中 早苗 (熊本フライデー・熊本)	吉田寿美恵 折井富美子 (パートナー・長崎)	山口 峰子 前田 良子 (カレン、平和・長崎)
2部Dリーグ (合計年齢 91歳～100 歳まで)	一瀬真知子 深堀 和子 (なぎさ・長崎)	谷脇 洋子 梅田 眞澄 (AA、千早・福岡)	森川 明美 立石千代子 (新南陽レインボー・山口)
2部Eリーグ (合計年齢 101歳～110 歳まで)	廣瀬 園子 木田美智子 (清水・大阪)	森藤久美子 民谷千寿子 (ソアー・岐阜)	三井 房子 上野 富江 (大歳ノイジィ・山口)
2部Fリーグ (合計年齢 111歳以上)	松村 和美 石井 伸子 (防府バド、田布施BC・山口)	有菌 靖子 原田 良子 (当仁、まどか南・福岡)	原 尚子 日比 公子 (ソアー・岐阜)
3部リーグ (個人年齢 60歳以上)	道家 幸 上辻 光子 (一宮、愛知・豊中シスターズ、大阪)	本村 綾子 安田 悦子 (新南陽レインボー、下松マラル・山口)	池田 博江 井上 三和 (西宮・兵庫)

秋たけなわの11月中旬、九州の西に位置し、オランダ貿易で盛えた長崎市で、西日本大会が開催されました。この大会に21府県より418名の参加がありました。大会を前に伊王島でのレセプションは大いに盛り上がりました。長崎県の出しものもとより、次の開催地山口県の「大内の殿様」には、大爆笑の連続でした。その勢いが翌日からの競技にも影響して非常に白熱を見せ、スムーズに進行しました。競技の向上も見られ、女性の

エネルギーで、ここ一番のねばりに感動しました。本大会の開催にあたりご協力ご支援をいただいた関係各位に感謝致しつつ無事終了致しました。終了後、異国情緒ただよう長崎の文化、歴史に触れ、堪能して帰りました。次の開催地山口県での出会いを楽しみにしています。

平成14年度 大会日程表

開催日	大会名	開催地	会場
平成14年 5月23日(金)～24日(土)	第9回福島オープンレディースバドミントン大会	福島県	国体記念体育館
7月1日(月)	第26回西宮オープンレディースバドミントン大会	兵庫県	西宮市立中央体育館
7月6日(土)～7日(日)	第11回新潟シニアオープンバドミントン選手権大会	新潟市	東総合スポーツセンター
7月14日(日)	第20回高松市オープンレディースバドミントン大会	香川県	高松市総合体育館
7月25日(木)～27日(土)	第20回全日本レディースバドミントン大会選手権大会 都道府県対抗・クラブ対抗	奈良県	奈良市立中央体育館 桜井市総合体育館 他
8月24日(土)～25日(日)	第29回京都オープンレディースバドミントン大会	京都府	京都府立体育館
9月9日(月)	第8回札幌ライラックオープンバドミントン大会	北海道	札幌市豊平区体育館
9月20日(金)	第17回広島市レディースオープンバドミントン大会	広島県	広島サンプラザ
10月15日(火)～17日(木)	第8回国際親善レディースバドミントン大会2002	大阪府	大阪府立体育館
10月20日(日)	徳島県レディースオープンバドミントン大会	徳島県	徳島市立体育館
10月23日(水)	山口県レディースバドミントン連盟結成記念大会	山口県	岩国市立体育館
10月31日(木)～11月1日(金)	第9回東日本レディースバドミントン大会	茨城県	日立市民総合運動公園体育館 日立製作所日立事業所体育館
11月9日(土)～10日(日)	第29回西日本レディースバドミントン大会	山口県	山口県スポーツ文化センター 山口県リフレッシュパーク
11月22日(金)	第12回大津オープンレディースバドミントン大会	滋賀県	大津市皇子ヶ丘公園体育館
11月28日(木)～29日(金)	第15回奈良オープンレディースバドミントン大会	奈良県	奈奈良市立中央体育館
平成15年 1月5日(日)	高知県レディースオープンバドミントン大会	高知県	高知県立春野体育館
3月7日(金)	第12回ひばりの会(48才以上)	茨城県	取手市グリーンスポーツセンター体育館
3月18日(火)	第7回千葉 茶の花オープン大会(50才以上)	千葉県	千葉県総合体育館
3月24日(月)	第29回長崎県レディースバドミントンオープン大会	長崎県	長崎県立総合体育館
3月30日(日)	第23回アザレアオープンバドミントン大会	愛媛県	新居浜市民体育館

ブ ロ ッ ク だ よ り

北海道ブロック 理事 山口 菊枝

広大なる北の都北海道では、一年の三分の一は雪に埋もれながら、それでも寒さにもめげず、バドミントン大好きなママさん達は常に練習会場へと足を運んでいます。

また、その分夏は猛暑もなくとても過ごしやすく、なお一層、美と健康、競技の向上をめざしてがんばっております。

昨年は、二度目の全国大会開催も無事終了することができましたし、大変良い成績も残すことができました。それに参加者の皆様方にも大変喜んでいただけたものと思っております。

北国にもやっと春を迎えまた新たな気持ちで全国大会出場を目指して闘志をもちやしてそれぞれに練習に励んでいます。

都市部では競技人口も密集しておりますが、郡部ではなかなか選手が揃わないといった悩みもありますので、今後一層努力して普及発展のため頑張っていきたいとおもっております。

東北ブロック 理事 高橋トシ子

東北ブロックは、青森、秋田、岩手、宮城、福島、山形の六県で、成立しております。昭和六十三年、NTT東北支社主催東北六県の家庭婦人を対象とした、オレンシ杯家庭婦人バドミントン

ン東北大会として、スタートしました。平成二年、NTT東北の、降板により、家庭婦人に、主催の移行となりました。

宮城県役員の方々の呼び掛けで、平成二年二月、設立準備会を開き、各県で大会を持ち、一巡した所で、正式発足する事を、決定いたしました。平成六年十一月十三日、東北地区家庭婦人バドミントン連盟設立記念大会を、山形県で開催、平成十三年、第八回福島大会迄、名稱の変更が、有りましたが、手探りながら、この迄、まいりました。

東北ブロックは、地理的にも、ブロック外の、大会に、参加されるが、限られており、この大会は、役員、選手の、意見の交換の場、として、とても大切な大会と、考へております。

関東ブロック 理事 小野田芳美

先ず、関東の面々を、紹介します。

○東京都、理事長 竹内ヒロ子 全国一の登録者を擁し、三六五日バドミントンの事で動き廻っているすごい人。

○神奈川県(登録人数四六〇〇・クラブ二七〇) 齊藤久子 年間50日もの大会を開催し、会員を我が子のよう

に思っている人。
○埼玉県(二、六一六名・クラブ一六〇) 清水公子 新理事長として、又、全国大会出場選手としても頑張っています。

○千葉県(一、七六〇名・クラブ一八

小野田芳美・小粒ではあるが県の機関車でありたい。

○茨城県 茶園和子・今年は東日本大会開催で本領発揮するでしょう。

○栃木県(五六〇名・クラブ三三) 板口千代子 冷静でしっかり者、関東の総務役。

○群馬県(五二〇名・クラブ三〇) 堀米喜美子 日レ連盟の常任理事として関東とのパイプ役で苦勞もある。

○山梨県(四二名・クラブ五) 長田知子 もう少し頑張つて貰いたい、賞状は東京のヒロ子さんにも負けていない。

以上 関東8県 役員同志大変仲良く、とても和気藹々ではあるが、会議は議論沸とうし、いつも時間オーバーしてしまふ。

5月24日には、第18回関東大会(全日本予選会)が、東京都町田市で、第9回東日本大会が茨城県日立市で行われる。

北信越ブロック 理事 山本三枝子

北信越ブロックは日本海に面し、新潟県・長野県・富山県・石川県・福井県の5県で、大体車で6時間の範囲で往き来し交流を図っています。

北信越連盟と称し、各県2名の役員で構成し毎年北信越レディースクラブ対抗大会を持ち回りで開催しています。

編成は一クラブ6人・二四〇歳以上で上級・中級・初級の部と、レベル別に分れ、又、全日本レディース選手権大会クラブ対抗の部ブロック予選会も同時開催しています。特に上級の部は多くの参加があり終了時間が遅くなる事が度々です。

連盟の方も5県と奇数のため、賛否を取る時には案外スムーズに決定する

事があり、より多くの問題を解決して来ました。現在、北信越ブロック5県は堅く結束していると自負しています。

東海ブロック 理事 大野 敏子

静岡・岐阜・三重・愛知四県の東海ブロックは、本州のまん中に位置し、静岡県は東日本、岐阜・三重・愛知三県は西日本と2つのブロックに分かれている地区です。

我が東海ブロックではレヘルアップと交流を兼ね、年二回の大会を開催しています。

昭和58年春より「団体戦」各県4チームのリーグ戦を開催し、翌年からは全日本大会の東海予選会も同時に行っている。又、昭和62年11月からは「個人戦」を、より多くの人に参加してもらおうと参加資格を「団体戦」出場者を除き、5種目(35才未満・35才以上・40才以上・45才以上・50才以上)参加枠各種目4組トーナメント戦で開催。両大会とも四県の輪番制で行い、団体戦開催時に理事長会議を開いて情報交換をしています。

近畿ブロック 理事 宇山 昌子

昨今の、不景気にも負けず、近畿地区(大阪、京都、奈良、兵庫、和歌山、滋賀)では、レディースバドミントンの愛好者の数は年々増加を続けています。

その中で近畿レディース連盟の主催する大会は年二回です。五、六月にはクラブ対抗予選会、そして三月の近畿大会(団体戦)で、それぞれ三十余チ

ームの参加で競われます。また、二ヶ月に一回の割合で各地でオープン大会が開催されています。近畿は交通の便がよいので日帰りで他府県にでかけることができるので、どこの大会も大勢の参加者で活気に溢れています。もちろん、各府県の事業もより充実したものになるよう役員の方々が意欲的に取り組んでおられます。

今年、いよいよ七月末に奈良県で全国大会が開催されます。近畿のレディースプレーヤー達は、奈良のコートに集まってくる全国のレディースのプレーに直接触れるチャンスをお待ちしています。

中国ブロック 理事 内田絢子

「連盟だより」の創刊おめでとございます。とは言えブロック紹介の原稿依頼を受けて「特色は？」と考えてみたがこれと言って思い浮かばず「さて困ったどうしたものか」と思案に暮れる・・・が、とにかく何か書かねばならない。そこで各県の近況を語ってもらった。鳥取・中国大会を成功させる事！配慮している事は中国地区へ交通不便の地だが「来て良かった」と喜んでもらえる大会にしたいとの事。広島・鳥取・特にないが例年通り頑張りたい。山口・高年齢層の増加に伴い昨年シニア交流会（50才以上の愛好者対象）を開催。近県会員を迎えて実施。又広島との合同チームにて海外遠征（朝日レディース・タイペイ）も

。今は西日本大会の成功に向け全力をあげている。岡山・シニア会員親睦会の結成に向けて準備中。先進県を見習って楽しい大会を企画したい。更に中国五県での交流会へと発展できれば・・・と考えています。

四国ブロック 理事 愛媛県 長井雪子

全日本家庭婦人バドミントン連盟から日本レディースバドミントン連盟となり、創立20周年をむかえました。第一回大会が開催された隅田川沿いのきれいな会館のことを思い出します。

四国の片田舎からの参加で、全国大会など生まれて初めてのものばかり。メタメタに負けて納得という試合でしたが、上には上があるけど、私たちも頑張ればどういかなるかもしれない、という意欲がムクムクとわいてきました。指導者にも恵まれ、本当に楽しい月日を過ごしてきました。

回を重ねるごとに参加数も増え、それとともに日本連盟の組織も充実し、これからの益々の発展が期待されますが、置いていかれないように一生懸命ついていきます。

よろしくご指導ください。

四国ブロックの登録クラブ数は、香川県15、徳島県2、愛媛県27、合計44（平成13年度）とまだまだ少ないのですが、それぞれの県の活動は大変活発で、色々な大会でのレディースの力は、なくてはならないものになっています。連盟登録については、各県の事情が

ありなかなが増えませんが、四国レディース連盟 瀧山会長と、白井常任理事のご指導のもと、登録チームの増加にがんばっています。

平成17年には、高知県で西日本大会が予定されています。

太平洋に向かって開けたおらかな国、土佐へ皆さん是非おいでください。鯨がまっていますよ！

九州ブロック 理事 杉山登久

九州ブロックは昭和54年度より、主催、九州バドミントン連盟。主管九州8県（福岡 熊本 大分 長崎 佐賀 宮崎 鹿児島 沖縄）持ち回り当番制で全九州家庭婦人バドミントン大会を行っております。

第1回は昭和54年11月22日、福岡県において開催され「第1回全九州家庭婦人バドミントン大会」種目は団体戦（6名×8名）種別30才以上の部・40才以上の部・各県2チーム以内。シャトルは合成球。参加料2千円。

現在（平成14年）は種別も30・40・45・50・55・60才以上の6種となり、シャトルは平成5年より、ようやく水鳥シャトル使用。平成13年度熊本大会より、九州家庭婦人連盟が九州レディース連盟と名称変更され、参加人数も、45チーム三十七名。参加料1万8千円。

平成14年「第24回全九州レディースバドミントン競技大会」は、10月20日（日）大分県立体育館で開催されます。

編集後記

全国から春の便りを受けて、たくさんメッセージが届きました。

年度末の多忙な中、原稿依頼に心よく応じて頂いた各ブロックを代表する理事の皆様ありがとうございました。お陰様で素人集団の広報部ではありますが、念願の「連盟だより」を創刊することが出来ました。レディース連盟の組織の力に深く感動いたしております。

「連盟だより」が会員の意見交換の媒体の一助にもなればと願っています。

次号にむけて研鑽に励みよりよい広報誌に成長したいと思っています。皆様のご協力をお願いします。

《広報部員》

- 白井カズ子 島中 玲子
- 小川 末子 堀米喜美子
- 竹内ヒロ子 池田 公子

発行

日本レディースバドミントン連盟
大阪府八尾市福万寺町南

TEL0729-13170-15
FAX0729-13100-72

編集責任者 村井 広美
編集 広報部
印刷所 株式会社 美巧社